

雲
出
安倍農政、消費増税に懸念の声
副市長・JAなど 中林氏、大田県議ら懇談

日本共産党の中林よし子参院鳥取・島根選挙区予定候補は2月14日、出雲市の伊藤功副市長、



JAいずも地区本部の石川寿樹本部長、出雲商工会議所の三吉庸善会頭を訪ね、要望を聞きまし。大田陽介県議、後藤由美市議が同席しました。

伊藤副市長は「安心して暮らせる町にしたい」と述べ、乳幼児医療費助成は「本来は国がすべきことだ」と語りました。

JAの石川本部長らは安倍政権が進めている農産物輸入の総自由化に抗議。中林氏は、農業が担っている国土保全への国

の助成など農業再生のために全力を尽くすと表明しました。(写真)

大田県議の質問(続き)

生活困窮者の相談対応改善を

大田県議は、自治体から生活困窮者の自立相談支援機関を委託されている社会福祉協議会の窓口で相談を受けている人に對して、今年1月、行政が税や国保料の滞納分の早期支払いや預金口座の差し押さえを迫った事例を紹介。県に對し、実態の把握と連携体制の改善を図るよう求めました。国は昨年10月1日付

商工会の三吉会頭らは消費税10%増税について懸念を示しました。

尾村県議の質問(続き)

大田氏は「生活に困窮し、税や保険料を納められない人が、行政の対応によって、経済的にも精神的にも追い詰められるようなことがあってはならない」と強調。その上で「消費税の10%への増税は論外であり、高すぎる国保料の引き下げ、相談支援体制の強化は急務の課題だ」と訴えまし。た。

高すぎる国保料・税の軽減を

県内では、昨年10月1日時点で、保険料の滞納世帯は1万世帯(国保加入世帯の12.5%)を超え、約500世帯で保険証が取り上げられています。国保加入者の平均保険料は政府試算で、協会けんぽの1.3倍、組合健保の1.7倍の水準となっています。尾村県議は、国保料が高くなる要因は国保にしかない「均等割」「平等割」を要求。吉川健康福祉部長は「子どもの多い世帯で保険料が重くなるケースがあり、子どもに係る均等割保険料の軽減措置を導入するよう国に要望している」と答弁しました。

日本共産党演説会

3月3日(日)
午前10時30分~
出雲・朱鷺(とき)会館
午後2時~
松江・県民会館中ホール



参院議員 弁士 市田 忠義

みんなでつくる 島根の会

島根原発はもう動かさない 県知事選に山崎泰子氏擁立を公表

中国電力島根原発の稼働に反対する個人や市民団体などをつくる「みんなでつくる島根の会」は2月20日、県庁で記者会見し、島根県知事選(3月21日告示、4月7日投票)に新日本婦人の会県本部会長の山崎泰子氏(57)

無所属新、日本共産党推薦(写真)を擁立してたたかうと発表しました。

「みんなでつくる島根の会」が設立集会ひらく

「みんなでつくる島根の会」の設立集会が2月16日、松江市で開かれました。(写真)

加者全員で決めました。日本共産党の後藤勝彦県委員長は「会の設立は市民と野党の共同を発展させていく上でも心強い。国いいなりでなく、暮らし・福祉第一の県政、原発ゼロの県政、憲法を生かす県政へ、会と連携して全力を尽くしたい」と述べました。

介護保険のペナルティー見直しを

県内において、昨年6月末時点の介護保険料未納者数は4300人を超えています。昨年度、未納者に対し、405件もの預貯金や年金の差し押さえが行われ、保険料未納によるペナルティーとして3割の利用料負担を課せられた高齢者は110人にも及んでいます。尾村県議は、未納者への無慈悲な差し押さえや過酷なペナルティーを見直し、低所得者が介護保険制度から排除されない実効ある対策を講じるよ

教職員の長時間労働の是正を

尾村県議は「小学校で一日6コマの授業をして法律通りに45分間の休憩を取れば、残る時間は25分程度しかなく、授業準備や採点など所定の勤務時間内に仕事を終えるのは不可能」と指摘。教職員の異常な長時間労働をなくすために、持ち時間数の上限の目安を一日4コマに定め、それに



必要教員定数を増やすべきだと主張しました。また、現場に負担を与えている教育施策を厳しく見直す必要性も強調し、「全国学力テストの自校採点や県学力テストなど、学校現場において教職員から納得と合意が得られていない施策や事業は見直し・中止すべき」と要求しました。

山崎氏の略歴 岡山県岡山市生まれ。1984年島根大学教育学部卒。岡山市、松江市の小学校講師を経て、現在、新日本婦人の会県本部会長、みんなでつくる島根の会副代表、原発ゼロをめざす島根の会共同代表などを務める。松江市東持田町在住。

